

# アメリカ合衆国の歴史

では、歴代のアメリカ大統領について知ってもらったところで、アメリカが現在に至るまでにどのような背景があったのかを、重要な出来事をピックアップして見てみましょう。

## 1775年 独立戦争

植民地だったアメリカはイギリスの支配に強く反発し、独立を志向する戦争が勃発しました。

## 1776年 独立宣言

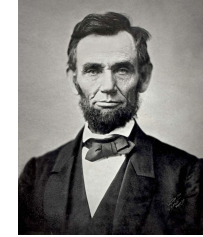
独立戦争に勝利した植民地側が独立を宣言します。これによって、アメリカ合衆国はイギリスから完全に独立しました。

## 1778年 アメリカ合衆国憲法の制定

この憲法制定によって、アメリカ合衆国は立憲主義と民主主義を原理とし、三権分立による共和政をとる国家として確立しました。

## 1861年 南北戦争

黒人奴隷制によるプランテーションで発展した南部と、労働力不足を補おうとする北部とで対立が深まり、南北戦争が勃発します。二年後に、リンカーン大統領による奴隷解放宣言と共に、北部側の勝利で幕を下ろしたこの戦争は、後のアメリカの産業革命に大きな影響を与えます。



## 1914年 第一次世界大戦

当初、ウィルソン大統領は厳正な中立を表明していましたが、ドイツによる軍事行動で多数のアメリカ人が犠牲になったことをきっかけに世論が大きく動き、1917年にアメリカは連合国側として参戦しました。参戦に伴ってアメリカでは禁酒法制定と女性参政権実現などの動きが活発化しました。

## 1929年 世界恐慌

ニューヨーク株式市場大暴落によってソ連を除く世界全体を巻き込む経済恐慌が起こります。当時大統領を務めたルーズベルトはニューディール政策によって状況の改善を試みました。

## 1939年 第二次世界大戦

世界恐慌によってヨーロッパではファシズムが台頭し始め、ドイツのポーランド侵攻によって大戦の火蓋が切って落とされました。アメリカは第一次世界大戦と同じように初めは参戦をせず、介入は連合国側への物資支援などに留まりましたが、1941年の真珠湾攻撃をきっかけに枢軸国側に宣戦布告しました。



## 1962年 キューバ危機

冷戦の最中、ソ連との緊張状態が過去最高に達し核戦争勃発の1歩手前まで来ましたが、ケネディ大統領による冷静な対処のおかげで最悪の事態は回避されました。これにより大統領は国民から大きな信頼を勝ち取ることになります。

## 1965年 ベトナム戦争

1960年に結成された南ベトナム解放民族戦線は、北ベトナムの支援の下に、南ベトナム軍およびこれを支援したアメリカ軍と戦いました。1968年にはキング牧師やケネディ大統領などの暗殺が相次ぎ、国内は動揺しましたが、結果的にアメリカ軍は撤退し、この戦争は稀に見るアメリカ側の敗北で幕を閉じました。

## 1989年 冷戦の終結

ヨーロッパでは東欧革命が一気に進んだことを受け、レーガンを継承して大統領となったブッシュは、その年12月にゴルバチョフとマルタ会談を行い、冷戦の終結を宣言しました。

いかがだったでしょうか。アメリカ合衆国の歴史は約200年と日本に比べると浅いですが、その短い期間の中に、世界を動かすような大きな出来事がたくさんありました。バイデン大統領によってアメリカの歴史がどう動いていくのか、これから注目していきましょう。